

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成21年1月22日(2009.1.22)

【公開番号】特開2007-309686(P2007-309686A)

【公開日】平成19年11月29日(2007.11.29)

【年通号数】公開・登録公報2007-046

【出願番号】特願2006-136644(P2006-136644)

【国際特許分類】

G 01 D 5/245 (2006.01)

F 16 C 19/52 (2006.01)

F 16 C 41/00 (2006.01)

G 01 P 3/487 (2006.01)

【F I】

G 01 D 5/245 V

F 16 C 19/52

F 16 C 41/00

G 01 P 3/487 Z

【手続補正書】

【提出日】平成20年12月1日(2008.12.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

磁性体粉と該磁性体粉のバインダとを含む磁性材料を円環状に形成した磁石部と、磁性材料からなるスリングガとを一体接合してなり、円周方向に多極に着磁された磁気エンコーダにおいて、

前記バインダが、分子構造中にハードセグメントとソフトセグメントとを有する変性熱可塑性ポリウレタン樹脂を含有することを特徴とする磁気エンコーダ。

【請求項2】

変性熱可塑性ポリウレタンのソフトセグメントがポリ炭酸エステル、ポリカプロラクトン、ポリアジペートエステルから選ばれるグロック体であることを特徴とする請求項1記載の磁気エンコーダ。

【請求項3】

スリングガが、予め接着剤を半固体状で焼き付けたコアに磁性材料をインサート成形してなることを特徴とする請求項1または2記載の磁気エンコーダ。

【請求項4】

固定輪と、回転輪と、前記固定輪及び前記回転輪との間で周方向に転動自在に配設された複数の転動体とを備える転がり軸受ユニットにおいて、

請求項1～3の何れか1項に記載の磁気エンコーダが、前記回転輪に固定されていることを特徴とする転がり軸受ユニット。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 0 】

即ち、本発明は、以下の磁気エンコーダ及び転がり軸受ユニットを提供する。

(1) 磁性体粉と該磁性体粉のバインダとを含む磁性材料を円環状に形成した磁石部と、磁性材料からなるスリングとを一体接合してなり、円周方向に多極に着磁された磁気エンコーダにおいて、前記バインダが、分子構造中にハードセグメントとソフトセグメントとを有する変性熱可塑性ポリウレタン樹脂を含有することを特徴とする磁気エンコーダ。

(2) 変性熱可塑性ポリウレタンのソフトセグメントがポリ炭酸エステル、ポリカプロラクトン、ポリアジペートエステルから選ばれるグロック体であることを特徴とする上記(1)記載の磁気エンコーダ。

(3) スリングが、予め接着剤を半固体状で焼き付けたコアに磁性材料をインサート成形してなることを特徴とする上記(1)または(2)記載の磁気エンコーダ。

(4) 固定輪と、回転輪と、前記固定輪及び前記回転輪との間で周方向に転動自在に配設された複数の転動体とを備える転がり軸受ユニットにおいて、上記(1)～(3)の何れか1項に記載の磁気エンコーダが、前記回転輪に固定されていることを特徴とする転がり軸受ユニット。